



現在形

ポイント	いつも変わらないこと。「未来」を表すことも可能。
例文	<i>He goes to school.</i> (彼は学校に行きます)
TOEIC	重要度は2。現在形を問う問題は少ない。出ても「三単現のsが付く」という中学レベルの問題。ただ、英文にはよく出てくるし、現在進行形との違いを明確にする。

進行形

ポイント	~しているところ（途中）。「まさに今」。
例文	<i>I am going to school.</i> (私は学校に行っている（ところ）)
TOEIC	重要度は3。現在進行形を問う問題は少ない。ただ、英文には頻出。Part1では、put on「着る（動作）」とwear「着ている（状態）」の現在進行形の違いが頻出。

進行形にできない動詞

ポイント	途中（~しているところ）と合わない→進行形不可。
例文	<i>He resembles his father.</i> (彼は父親に似ている)
TOEIC	重要度は2。進行形にできない動詞はTOEICではほぼ出題されない。とはいえ、上記のように簡単であるので知っておいても良い知識。

現在進行形で未来を表せる

ポイント	現在進行形で「未来」を表せる。
例文	<i>I am visiting Tokyo tomorrow.</i> (私は明日、東京を訪れる予定です)
TOEIC	重要度は5。これはそれぞれのPartで頻出します。もちろん「まさに今」ってことを表すときもありますが、同じくらいの頻度で「未来」を表す。

未来進行形

ポイント	〈will+be+...ing〉→「未来において~しているところ」
例文	<i>I will be sending the product to the customer tomorrow.</i> (明日お客様に商品を発送しているところです)
TOEIC	重要度は5。受験英語だと重要度はかなり低いが、TOEICだと超頻出。未来進行形で「確実に行われますよ」と保証するので、丁寧な表現と言えます。

時・条件を表す副詞節の中では…

ポイント	時・条件を表す副詞節の中では未来のことも現在（完了）形。
例文	<i>I'll tell him the truth if he comes tomorrow.</i> (明日彼が来たら、私は彼に真実を話します)
TOEIC	重要度は4。英文で頻出するし、Part5の問題で問われることもあります。